



幸せを感じる時

施設長 浅見 僚子

先日、職員が家庭の事情で退職しました。そのお別れの時のこと。今まで言葉がなかなか言い表せなかった利用者様が「また、遊びにきてください。」と、はっきり伝えていました。普通に考えれば、何でもない光景ですが職員は感慨深いものがあったそうです。

数年前までは人と接することが大変苦手で目も合わせない、言葉も交わせない、挨拶も難しい方でした。職員が、緊張をほぐすために楽しいことを言ったり、声掛けをしたりして、徐々に職員との関係に安心感をもって下さり、ご本人の笑顔も増えてきました。挨拶については全職員で粘り強く声をかけ続けています。挨拶ができれば○をつけるなどのカードも活用しています。

そして、何より成果があったのは、在宅支援における電話でのやりとりの積み重ねでした。在宅支援が始まって2年、毎日の電話にご本人に出ていただき、会話を積み重ねることで、大きく成長されたようです。

「また、遊びにきてください。」の言葉を自ら発することができるのに7～8年の歳月がかかっています。長い年月がかかりましたが、確実に成長されている姿を見させていただき、職員の大きな喜びにつながっています。

生活介護に育休明けでもどってきた職員もうれしい驚きがあったそうです。

産休に入る前は、寝ていることが多く、なかなか起きて活動に参加できなかった方が、率先して掃除に取り組んでいらしたことです。

以前は、指示待ちで、自分から活動に取り組みなかった方が、進んで朝学習をしていらっしやること。

自分のいなかった2年間で、利用者様が大きく成長された姿を見て、とても感激したそうです。

最近「映画を早送りで見ている人たち」という本が話題になっています。情報化社会の中であふれかえる情報と私たちがどのように向き合っていくのか考えさせられる内容でした。「早送り視聴やファスト映画（紹介動画）は若者を中心に広がっており、仕事が忙しく時間がない30代～40代にも広がっています。

＜「早送りやファスト映画」の背景＞

- ① 映像作品の供給過多
(配信サービス等の多様化と増加)
- ② 現代人の多忙による時間の効率的活用
(大量の作品を短時間で観たい願望)
- ③ 情報収集をしている優位性
(周りの話題に合わせる、結末を知りたい)
- ④ セリフで説明する映像作品が増えた
(「分かりやすい」が求められる風潮)

筆者は執筆中、『インターネットは人類を幸福にしたのだろうか』と何度も思ったそうです。定額で見放題になった結果、作品の持つ価値が下がっている。監督や脚本家等、製作者の意図を無視してじっくり味わうことなく消費されていく作品。周りの人と話題を合わせるために感動より知っていることが優先され、SNSで発信される情報に振り回される個人。今や、映画1本2時間は長すぎるとも言われ始めています。

技術進化が人々の生活様式を変え、便利な世の中になりました。情報量が膨大に増え、時間の流れも変わってきています。

目の前にあるゆったりと流れる時間を大切に、ささやかな成長を確実に積み重ねながら、利用者様、職員ともに満足感や達成感を味わうことも幸せの一つの形だと思います。

進化に必要な技術革新は今後も人類に多大な影響を与え続けていくことなのでしょう。時代の変化に適応するための学習と共に、自分は何を大切にして生きていくのか、何に価値を見出すのかといった「選択」も重要な気がします。大きなうねりの中でも自分らしく、芯をしっかりとって歩いていきたいものです。

8月の活動予定

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11 山の日	12 夏季休暇	13
14	15 夏季休暇	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27 開所日
28	29	30	31			

ご不要になった「本」を ゆずっていただけませんか

新型コロナ感染予防のため、就 B 利用者様は、ビニールカーテンに囲まれたご自分のエリアで作業をし、食事をしたりしています。以前のように、お昼休みにみんなが集まっておしゃべりをする事も控えている状態です。時間を持て余してしまうこともあるようです。

少しでも、楽しく過ごしていただくために、休憩時間に本を見ることも提供したいと考えています。

また、自主製品に利用者様の描かれた絵を採用し、アレンジして製品にしておりますがもっともっと利用者様にたくさんの絵を描いていただきたいと思っています。何も見ずに描くのは難しいので、イラストや図鑑を見ながら描いていただく予定です。

ご家庭に、不要になりました『絵本・図鑑・イラスト集』などがございましたら、たんぽぽに寄附をしていただけませんか？本は重いので、ご連絡いただければ、こちらからいただきにあがります。ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先 たんぽぽ 03-5946-3588



施設環境課に、いろいろ聞いてみよう！



たんぽぽでは、「就労継続課」や「生活介護課」のほかにも様々な課が活動しています。今回は、施設環境課の課長さん（中澤春雄職員）に、活動内容等をインタビュー形式でお答えいただきました。

質問 1：施設環境課って、何をしているんですか？

回答： 利用者の皆さん、職員が快適な環境で過ごせるように、施設内の環境整備を行っています。例えば...

- 施設内で使用する様々な備品の調達。
それら備品の在庫整理及び管理
 - 使用中の機器等のトラブルの対処
 - 空調機等の清掃
 - 害虫駆除
 - 粗大ごみ（廃棄物）の処分
 - 寄附物品の管理
 - 昼食（弁当）の発注・管理
 - 台風通過後の屋上、建物等の損傷有無の確認
 - 屋上の落ち葉拾い
- など、多岐にわたります。



毎日の消毒も欠かせません



秋には落ち葉拾いを。

質問 2：利用者の皆さんとは、どのような関わりがありますか？



簡単なものは修理して使います

回答： 利用者さんとの関わりは、多くはありませんが、物品の整理整頓を行う時に手伝っていただいています。消耗品などを大切に使うことや、節約することの重要性をお伝えしながらすすめています。

質問 3：施設環境課として活動する上で、心がけていることはありますか？

回答： 受注作業で品物などをお預かりしているので、品質管理の観点から害虫に気をつけています。また、備品購入の際はなるべく安く購入できるよう、店頭やインターネットなどで情報収集をしてから、購入するようにしています。



エアコンの掃除も大事です

質問 4：現在の施設環境課としての課題はありますか？



害虫駆除も定期的に行います

回答： 経費節減（水道・光熱費・物品）が、大きな目標の一つであり、課題と言えます。特に、水道・光熱費の節約は、就労継続課の工賃収益に影響しますので重要です。たんぼぼ施設全体で周知を行い、各人の節約に対する意識を高めていけるよう、働きかけをすすめていきたいと思ひます。

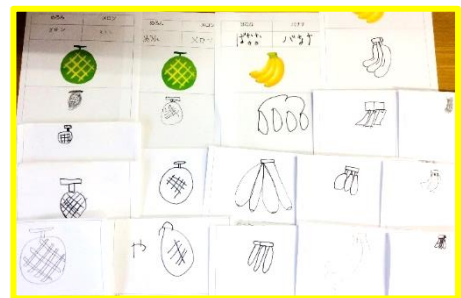
質問 5：今後、施設環境課として目標としていることや、将来像などがありますか？

回答： 「SDGs」を念頭に、取り組みを強化していけたら、と考えています。たんぼぼ内できることから取り組みます。一例として、ビニール手提げ袋を購入する際、最も安価なものを買うのか、環境に配慮した物を購入するのかを法人全体で検討しながら、たんぼぼでも実施していきたいです。



～ 新商品のラインナップ ～

新しい自主製品の開発を行う為、ご利用者の皆様からイラストのアイデアを募集しました。見本を見ながら描くだけではなく、見本に寄りすぎてしまう方はご自分のイメージをそのまま描けるよう工夫し、その方の“味”を作品に活かし、素敵な「メロン」「バナナ」「いちご」のブローチと消せるボールペンが出来上がりました。8月より KURUMIRU で販売予定です。



自主製品を発信しています

Instagramのご紹介

スマートフォンのカメラアプリを立ち上げ、右のQRコードにカメラを向けると、URLが認識され、タップをすると、WEBサイトにアクセスできます。



HOUKITOTIRITORL.T

皆様のアクセスを
お待ちしております！